

有明高専だより

第83号
1994. 6



目 次

入学式式辞	2	学生行事・研修旅行	9
新入生オリエンテーション	3	退官教官 Q & A	10
新任教職員 Q & A	4	卒業生の進路・表彰	12
高専大会日程	6	学生表彰（1年間皆勤・精勤）	14
卒業式送辞・答辞	7	物質工学科	15
創立30周年記念施設	8	公開講座・行事予定・編集後記	16



第32回 入学式式辞

日ごろの勉学が実って、本日有明工業高等専門学校に入学を許可された207名の新入生と8名の編入学生諸君、入学おめでとう。工業技術者への道を志す多数の若人を新たに迎え、第32回入学式を執り行うことは、本校にとって心からの喜びであり、諸君の栄えある入学を、教職員在学生一同から祝福し、歓迎いたします。また、諸君の本校入学は、君達を支え、導いてこられたご家族の皆様にとっても大きな喜びであると存じ、ここにご列席のご家族の皆様に衷心よりお祝いを申し上げます。

さて、いま諸君はこれから始まる本校での学生生活への期待に胸を膨(ふく)らませ、勉学への決意を新たにしていることと思いますが、どうかその気持ちを本校を卒業するまで、いつもしっかりと持ち続けてください、「初心忘るべからず」と言いますが、5年という長い歳月の間、毎日の生活が安易に流れることのないように、絶えず自分を励まし、勉学意欲を保ち続けるには、強い自律心が必要です。ここで、諸君にぜひ知っておいて欲しいのは、高専は高等教育機関であって、そこに在籍して教育を受ける者を「学生」と呼び、中学校や高校と違って「生徒」とは言わないことです。これは取りも直さず、諸君にこれまでのように、先生やご両親の教えや導きに従い、他動的に行動するだけでなく、自分で物事を考え、自分の言動を自分で制御するという、自主的な人間になることを求めていると言うことなのです。そこで、まずその第一として、先刻申したように、学生の本分である勉学の面において自律心を發揮し、強い勉学意欲を保ち続けるべく努力して欲しいと願っています。そして更には、勉学以外の学校生活や社会生活の面においても、自主性を發揮すべく心掛けてくれるよう期待しています。

ところで、高等教育の目的は、一般に初等中等教育で養われた社会活動に必要な能力と資質を基礎に、専門の学芸を教授して各人の能力を展開させることにあります。その中にあって高専は、特に「職業に必要な能力の育成」を目的とすることが学校教育法でうたわれており、工業に関する高専である本校は、工業技術を通じて社会に貢献する人材を育成することを目的としています。

そもそも技術とはよりよい生活を求めて人間が考え出した生活の知恵であり、工業技術は自然科学の成果を人間の生活に有用な物や形に具現化して提供することを使命としています。技術教育においては、まず先人達の足跡である専門に関する工学的基礎知識を理解吸収することが必要で、それがなくては道具なしで仕事をしようとするのと同じです。ただ、だからといって単に知識として持っているだけでは役に立ちません。知識という道具を、実際の物作りの場でどのように使えば良いのか、その使い方を演習や実験研究を通じて体得しておくことが不可欠であり、このような教育が実践的技術者の育成



を目指す高専教育の根幹をなしています。

とは言え、やはり一番大切なのは、人間が生まれつき持っている探究心と好奇心が、諸君の心の中で生き生きとしていることです。ニュートンのりんごの話を持ち出すまでもなく、体験したこと、教わったことを単に事実や知識として受け入れるのではなく、なぜそうなのか、なぜとなるのか、その訳を考えようとする心を自分で常に磨いておくことが、技術教育においても技術者にとって一番大切です。

さて、工業技術は先程述べたように、人類が幸福な生活を追い求めた結果として生まれたのですが、工業が発達した現代社会においては、工業技術はマイナス面を含めて、さまざまな形で人々の生活に影響力を持つに至っています。それゆえ、工業技術者は仕事をするに当たって、何が人類にとって本当に必要なかを見極める洞察力と判断力を備えている必要があります。どうか諸君は、本校で科学技術という未知の世界について学ぶ喜びを知り、深い専門的知識と高い技術的能力を涵養(かんよう)すると同時に、広い視野と豊かな教養を身に着け、人間的魅力を備えた人材に成長するよう努力して欲しいと思います。そのためにも、志を高く持ち、勉学はもちろん、クラブ活動、学生会活動、図書館の利用などの学内活動に励み、更にはロボットコンテストをはじめとする学外の教育的行事にも、積極的に挑戦してください。

大牟田、荒尾両市の中心街から離れ、東に小岱山の緑を仰ぎ、西に遠く有明海を望む、閑静で自然に恵まれたこの萩尾台は、諸君が勉学に励み、人格の陶冶(とうや)に努め、体力を育むにはまさにふさわしいところです。この恵まれた環境の中で、諸君が工業技術者を志して学ぶことに誇りと自覚を持ち、先生への信頼、友達との友情を深めながら、卒業までの一日一日を有意義に過ごし、積極的な学生生活を送られることを願って式辞といたします。

平成6年4月11日

有明工業高等専門学校長
高松 康生



新入生オリエンテーション

平成6年4月18日～20日
国立阿蘇青年の家

不可能を可能に

1M 坂本 武司

僕たちにとって、この研修の最大の難関ともいえるオリエンテーリングは、研修の生活に慣れかけてはいるものの、完全に1日目のつかれがとれていない2日目に行われました。

地図とコンパスを頼りに、各所に設けられたポイントを見つけるという単純なルールではあるのですが、ここは地平線が見える平地とは違って、山や峠が都市に立ちならぶビルのように存在し、僕たちの足を限りなく痛ぶるのにくわえて、肝心のポイントは、草木の中にまぎれこんで、とても全部を見つけ出すことなど不可能に等しいのです。最初はふるい立つほどだった僕たちの志気も、時間が経つにつれてじわじわとしづらさがとうすれていきました。しかし、そのような状態の中で僕たちはまるで自分が機械になったのではないかという感じがしました。機械になったのではと思ったのは、自分がいつも不可能だと思っているようなことが、ポイントが一つ一つ見つかるにつれて、可能かもしれないと思えてきたことで、そのうち自分達に不可能が存在することこそが不可能とさえ思いました。実際に僕たちは、普段登れそうもないような峠や、下れそうもないがけもなんの問題もなく進むことができました。

自分たちをそうさせたものが何であるかを考えてみました。そして出た結論は、友人たちといっしょに行動することで、チームの中においての自分の責任を自覚することができたからだと思いました。

これからも自分にとって不可能ではないかと思われることがあると思いますが、それは自分の責任を逃れているだけで、自分が自分の責任を自覚することによって、不可能ということがなくなるのではないかと思いました。



研修を終えて

1E 加藤 太樹

今回の2泊3日の研修は、とても楽しかった。まだ入学したてだから、友達もできていないままこの阿蘇青年の家に来るのは、はっきりいっていやだった。学校でも、いつも静かでぜんぜん面白くない毎日だったので、こっちに来ても気まずい毎日だろうと思っていた。でも、部屋の人たちはみんないい人たちばかりで、すぐに友達になれた

自分は中学生の時は、本当に、友達ができるのに時間がかかったけれど、高専の人たちはみんな心が広いのか、すぐに自分を受け入れてくれた。ぼくは直方からたった一人で来た。それで友達もつくらないといけない。きびしい寮生活にも耐えなければならない。授業もついていかないといけない。部活も、とたくさん不安をだいて親元を離れた。友達はもう、たくさんつくれたから、後はこの阿蘇青年の家で学んだことを十分生かして学校生活に役立て行きたい。

また、自分のクラスはとても団結力がある、と研修をしていて思った。学生会の方で綱引きのリーグ戦をした時も、3勝1敗と好成績で2位となったり、オリエンテーリングでは、本当に疲れたけれど、山を越え谷を越えてと、みんなと励ましあいながら、一つのポストを追い求めていた。結果としては、1位や2位でこそなかったものの、5チームが入賞。総合的にみると、我が電気工学科が1位ということでおどろいて思いました。

これからまた、たくさんの学校行事の中で1年生全体や、学科の中で団結してやっていかなければならないことが、いくつもあると思う。体育祭や、球技大会、高専祭等でも研修での団結心をもう一度よみがえらせて、がんばっていきたいと思う。





新任教職員

Q & A

新任教職員の方々を次のQ1~4で紹介いたします。

Q1 本校に来る前は?

Q2 本校あるいは本校学生の印象について

Q3 趣味は?

Q4 抱負を一言



名 前 中 川 忠 昭
所 属 電気工学科
専門分野 通信工学



名 前 河 野 晋
所 属 電気工学科
専門分野 高電圧工学・
パルスパワー工学

A1 昭和35年から、平成4年までNHKで勤務しました。主な仕事は、札幌オリンピック中継、沖縄返還中継、こんばんは九州、福岡、大分、佐賀、長崎各県のサテライト局建設工事等です。

A2 「高専対抗ロボットコンテスト」への取り組み、また運動部が熱心に練習している姿に感心しました。

A3 ビデオ制作。「岱明寮の送別行事」を撮り、NHKで放送してもらいました。

A4 今後も有明高専のさまざまな活躍を地域に向け、また外に向ってPRに努めます。精一杯がんばります。



名 前 石 丸 智 士
所 属 電気工学科
専門分野 電子物性・電気化学

A1 九州工業大学大学院工学研究科を平成3年に修了した後、昨年まで沖電気工業(株)でマイクロプロセッサの開発に従事していました。

A2 ひとつのキャンパスの中に、制服姿の学生と私服の学生が居て少し妙な感じがしました。のびのびしすぎている所が良くも悪くもあるような気がします。

A3 音楽を聞くこと、演ること。高校時代からバンドでギターを弾いていました。

A4 よろしくお願いします。

A1 熊本大学大学院工学研究科でパルスパワーの研究をしていました。

A2 のびのびとしていて元気が良い学生が多い。また一人一人がたいへん個性的である。

A3 音楽を聞く、車の運転をする、酒を飲む…etc

A4 がんばります。



名 前 嘉 藤 学
所 属 電子情報工学科
専門分野 情報通信工学

A1 九州工業大学大学院情報工学研究科情報システム専攻修士課程で学んでいました。

A2 学生は、明るくて素直そうだなというのが第一印象。何事も前向きに明るく取り組むことは大切ですね。

A3 体を動かすこと。テニス、バドミントンなど好きです。学生(佐世保高専)時代は、バレーボールをやっていました。最近運動不足ぎみですので、機会があればと思っています。

A4 “明るく・楽しく・一生懸命”をモットーにがんばります。



名 前 笹 木 昭 弘
所 属 物質工学科
専門分野 生物学基礎

A1 今春、九州大学大学院農学研究科修士課程を修了しました。大学院では、圧力を用いた食品の殺菌について研究を行っていました。

A2 有明高専は、自主性を重じる校風で、学生も、よく挨拶することに大変好感を持ちました。

A3 休日には、福岡市にある志賀島によくドライブに行っています。

A4 公私を問わず、責任ある行動をとりたいと思っております。これから精一杯がんばってやって行きたいと思います。よろしくお願いいたします。



名 前 橋 口 悟
所 属 学生課長

A1 都城高専、宮崎大学、宮崎医科大学で学生課及び庶務課の業務に従事していました。

A2 以前に1度訪れたことがあり、とても懐しく思い出され、素晴らしい環境の学校で学生諸君のはつらつとした姿が印象的です。

A3 スポーツ(特にバドミントン)最近はゴルフにっています。

A4 「一つ屋根の下」をモットーに、教職員、学生が元気で、明るく、協調性をもって、有明高専の目的に向って前進することを念願し、その一員として、楽しい職場を心掛け、日々精進して行きたいと思っております。



名 前 森 田 正 明
所 属 事務部長

A1 九州大学経理部

A2 環境に恵まれた伝統と実績のある学校である。

A3 スポーツと音楽鑑賞

A4 国立高専の収入源はそのほとんどが授業料です。でも、その授業料収入は総必要経費の約半分しかなりません。その差は税金でまかなわれているのです。しかし、その税金は学生諸君が卒業後社会人として何倍かにして社会に還元するであろうことを期待する先行投資であると私は思っております。私達事務系職員は、このような教育・研究を側面から支援するという重要な役割が与えられています。私もその重い責任を果たすべく最大の努力をいたします。どうぞ皆さんのご協力をお願いします。



名 前 中 村 拓 郎
所 属 会計課施設係

A1 九州大学施設部建築課

A2 2つの県にまたがった学校というので、すこしおどろきました。

A3 ドライブ

A4 有明高専の施設係の一員として、一生懸命がんばりたいと思います。



名 前 荻 島 真 澄
所 属 電子情報工学科
文部技官

A1 八女工業高等学校の学生でした。

A2 個性的な人達ばかりなので、楽しくやっていこうです。

A3 ドライブ、バドミントン

A4 まだまだ分らないことばかりですが、がんばりますのでよろしくお願いします。



名 前 池 松 裕 子
所 属 電子情報工学科
事務補佐員



名 前 北 川 乃利子
所 属 電気工学科
事務補佐員

- A1 循環器系の病院で受付と医療事務の仕事をし、その後市役所で働いていました。
- A2 明るく、快活な印象を受けました。
- A3 音楽鑑賞、映画鑑賞等です。
- A4 学校という環境に早く慣れ、がんばっていきたいと思います。

- A1 大牟田市役所の臨時職員をしていました。
- A2 寮の近所に自宅があることと、高専祭等によく来ていたせいで、とても親しみを感じています。また、真面目な学生が多いなあ、という印象を持っています。
- A3 高校時代からしている水泳・読書、お菓子づくり等です。
- A4 これからがんばっていきたいと思います。よろしくお願いします。

高専大会日程

◎第31回九州地区高専体育大会

期 日 平成6年7月22日(金)・23日(土)・24日(日)
担当校 大分高専
陸上競技 大分市営陸上競技場
ソフトテニス 昭和電工(株)明野テニスコート
大分高専テニスコート
バドミントン コンパルホール
水泳 大洲総合運動公園50mプール
担当校 熊本電波高専
サッカー 熊本県民総合運動公園サッカー場・
ラグビー場
柔道 熊本武道場
バレーボール 熊本市総合体育館
テニス 熊本県民総合運動公園テニスコート
担当校 有明高専
硬式野球 大牟田市延命球場・荒尾市野球場
バスケットボール 大牟田市立体育館
卓球 玉名市勤労者体育センター
剣道 有明高専第一体育館
期 日 平成6年11月12日(土)～17日(木)
担当校 大分高専
ラグビーフットボール 大分市営駒ノ原球技場

◎第21回九州地区高専ハンドボール大会

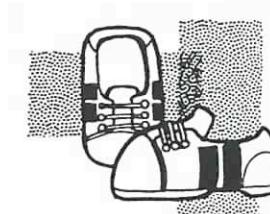
期 日 平成6年7月17日(日)
主管校 北九州高専
場 所 北九州市立小倉北体育館

◎第24回西日本地区高専弓道大会

期 日 平成6年7月22日(金)
主管校 有明高専
場 所 荒尾市弓道場

◎第14回西日本地区高専水泳競技大会

期 日 平成6年7月28日(木)・29日(金)
主管校 高松高専
場 所 香川県立総合水泳プール



平成5年度卒業式送辞・答辞

送 辞

厳しかった冬もようやく終わりをつけ、今年もまた、優しい日差しが大地に降りそそぐ、暖かい、はじまりの季節となりました。

社会人として、また大学生として、門出の春を迎えた5年生のみな様、ご卒業、おめでとうございます。

振り返れば、私たちが先輩方に初めてお会いしたのもこの季節でした。何も分らなかった私たちに兄のように姉のように、時には気心の知れた友人のように、高専生活がどういうものか、またどうしたら良いかを親身になって教えてくださった先輩方、今までありがとうございました。

先輩方が、有明高専の門をくぐられたのは、平成元年の春。新しい時代の幕開けとともにこの学校に入学されました。

長いようで短かった月日の中で先輩方は、幾多の荒波を乗り越え、歓喜と反省を繰り返しながら、5年の歳月をかけて、ゆっくりと、大人へと通じる道を、一步、一步、踏みしめながら、歩いて行かれました。その行く手には小さな壁や大きな壁がたちふさがっていたことでしょう。そのまままな壁を、みんなで助け合って乗り越えてこられました。

その途中は、決して簡単ではなかったと思います。しかし、こうして現に乗り越えてこられた先輩方は後に続く私たちに、大きな道しるべを残してくださいました。そのおかげで私たちも、きつくても道に迷うことなく、何とか乗り越えてくることができました。

平成5年の夏、先輩方の最後の高専大会。今まで練習してきた全部をぶつけて、完全燃焼された先輩方は、光り輝いて最高でした。

先輩方は、これから社会人の新入生として、また大学の編入生として、より厳しい環境に立たれるわけですがこの青春時代を過ごした有明高専で学ばれたことを生かして、そして、萩尾の地より、応援している後輩の姿を思い浮かべて、これから続いて行く人生をがんばってください。

平成6年3月18日

在校生代表 学生会会長 安井光洋

答 辞

今、私たちは無事に卒業式を迎え、この有明高専を去ろうとしています。早いもので、15才の春、私たちがはじめて有明高専の門をくぐってから5年の月日が流れました。この5年間で私たちは、多くの素晴らしい友人に専まれ、日々充実した学生生活を送ることができました。これから私たちは、就職、進学とそれぞれ違う道へと進んでいくわけですが、この有明高専で学んだことは将来、必ず何らかの形で役に立つことと確信しています。

これから21世紀に向かって大きく変動していく社会の中で、私たちはどれほどの力を発揮できるのか、その胸中は期待と不安が入り混じった複雑な心境です。しかし、いかなる場合も向上心を忘れず、目標を高く掲げてがんばって行きたいと思います。

これからは、今までの学生生活とは違い、社会に対して自分自身の言動に責任が課されます。そして私たち一人一人が自分自身の信念のもとに、今までの先輩、教職員の方々をはじめとする多くの方たちの多大なる努力によって築かれてきた有明高専の名に恥じないよう、より一層の努力をしなければなりません。そして21世紀の日本をリードできるような技術者となり、少しでも社会に貢献して行きたいと思います。

最後に、これまで私たちをご指導くださった教職員の方々、何かと私たちを支えてくれた在校生の皆さん、そして温かく見守ってくれた両親に深く感謝したいと思います。私たちはこの学校を去りますが、在校生の皆さんには、自ら学び自ら考えることの大切さを忘れず、勉強にスポーツに遊びにがんばってほしいと思います。

平成6年3月18日

卒業生代表 電子情報工学科 西村周二





30周年記念施設

「友夢創家」によせて

建築学科同窓会「萩明会」会長 鶴田 誠
(48年A卒)

昨年は、母校創立30周年、まことにおめでとうございました。本年からまた新しい歴史を刻んでいく学生のみなさんに、30周年記念施設「友夢創家」の建設に携わった者の1人として、メッセージを贈らさせていただきます。

さて、南米ペルーのインディオ達は「川と人は流れるが、森は動かない」という言葉を語り継ぐそうです。私にとって、動かない大切なものの、それは、父母であり、妻子であり、そして母校です。それら全てが今の私を育て、またこれから私の支えてくれるものと思っていました。また、人には様々なシーンで様々な出会いがあります。出会ったとき、一所懸命に心から努める“一期一会”(いちごいちえ)の心。私は、この「友夢創家」が学生諸君の心の杜(もり)になり、自由に集い、新しい出会いをはぐくみ育ててくれる場になればと願っています。僭越(せんえつ)ですが、この気持ちは、私だけに限らず、今回この企画に心を寄せられた方々に共通のものと思っています。簡単に、建設の経過に触れますと。昨夏、記念事業実行委員会より同窓会理事会を通じて「萩明会」に記念施設の企画のご依頼があり、デザインコンペの実施から審査を経て、実施設計と施工が同窓生の手によって実にハイピッチで進められ、この春4月5日に見事完成しました。そして今、学生・教職員の方々から寄せられた多数の応募の中から、「友夢創家」が愛称に決まりました。

母校、有明工業高等専門学校の更なる発展のために、学校、後援会、同窓会そして学生会のみな様方が、「友夢創家」で新しい出会いを見つけていただくことを願ってやみません。



設計を担当して

山口 美由紀
(56年A卒)

このモニュメントを構成している基本素材は、木、鉄、コンクリートです。これは、ちがう素材どうしがお互いの持ち味を生かしあいながら、それぞれに自立し、また、協力しあうことによって、調和のとれた空間を作ることができるのでないかと思ったからです。

なぜそんなコンセプトにしたかというと、高専において、建築、機械、電気、情報、化学といったそれぞれに個性のある専門を学びながら、横のつながりに欠けていることを、私自身、在学中に強く感じていたからです。でも、社会というところは、多くのちがう分野の人たちとコミュニケーションを持ちながら、成り立っている世界です。そういう意味で、コミュニケーションの大さきを形に表現してみたかったわけです。もちろん、東屋としての基本機能を持たせ、モニュメントといった言葉の持つニュアンスにも近づけるよう造形的なデザインを加え、本人も遊び感覚で楽しみながら考えた作品です。

今まで何ということもないただの中庭、何でもない「ソト」だったスペースが、ガラスの屋根と大きなデッキテーブルによってアウトドア何々として活用できることになったわけです。快適性のキーワードともいえる「光」「緑」「風」の中での生活空間が日常の学生生活の中に入ってきたのですから、ぜひ、ワイワイガヤガヤと思いついの空間を、学年学科を超えた交流の場として創りあげていかれる事を願っています。暗黙の了解である最低のルールは守ってくださることを信じて……



春季球技大会

5月26日(木)に行われた春季球技大会は、前日から降りはじめた雨のため、残念ながら室内競技となってしまいましたが、その空模様を吹き飛ばすような数々の熱戦が繰り広げられました。以下にその主な結果を報告します。

優勝 準優勝 MVP

バレーボールA	5 A	3 M	5 A 安武 正憲
バレーボールB	4 I	5 A	4 I 田口 敬崇
卓球	4 M	5 M	4 M 権藤 博一
女子バレー	3 A	3 I	3 A 野崎 忍

最優秀クラス 5 A 優秀クラス 4 M

今回、5 A と 4 M は最優秀クラスを決める得点は同点だったのですが、優勝と準優勝の数が多かったので、5 A が最優秀クラスとなりました。4 M のみなさん、次回はがんばってください。また、今回得点争いに加われなかった各クラスのみなさんも、次回の冬季球技大会では最優秀クラスを目指してください。

寮生球技大会

平成6年4月16日(土)、晴天のもと、新入寮生歓迎出身地別球技大会が実施された。寮務主事の挨拶の後、ソフトボール、バレーボール、卓球、女子種目として、バスケットボールの4種目の競技が行われた。福岡Aチームが総合優勝し、寮生の親睦を深める大会は無事終了した。



研修旅行

期間 平成6年5月10日(火)~13日(金)

◎機械工学科 (学生35名: 南、田口引率)

小牧市 (三菱重工業(株) 小牧南工場)
東海市 (愛知製鋼(株))
豊田市 (トヨタ自動車(株) 元町工場)
沼津市 (東芝機械(株) 沼津工場)

◎電気工学科 (41名: 近藤、亀石引率)

川崎市 (富士電機(株) 川崎工場)
大田区 (日本航空(株) 羽田整備工場)
世田谷区 (N H K 放送技術研究所)

◎電子情報工学科 (44名: 松野、石井引率)

川崎市 (株東芝 柳町工場)
沼津市 (富士通(株) 沼津工場)
小田原市 (株日立製作所 ストレージシステム事業所)

◎工業化学科 (37名: 川瀬、正留引率)

高砂市 (鐘淵化学工業(株) 高砂工場)
寝屋川市 (日本科学冶金(株) 寝屋川工場)
摂津市 (ダイキン工業(株) 淀川製作所)

◎建築学科 (40名: 松岡、原田引率)

大阪市 (天保山ハーバービレッジ・大阪城)
奈良市 (薬師寺・法隆寺・奈良公園等)
京都市 (古建築見学)





退官教官

Q & A

今年3月31日付けで退官された3名の先生方から、次の3つについて答えていただきました。

Q1 高専でもっとも思い出に残ることは?

- Q2 高専あるいは学生に何を望れますか?
- Q3 最後に今後のことについて一言。

自己実現に向けて

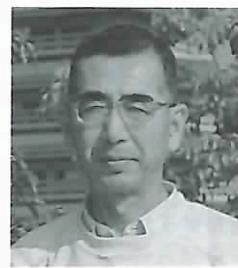
倉 橋 完 充 (機械工学科)

A1 9年前はじめて学校に来たとき、学生諸君の考え方方が非常に良い意味で自分本意になっていることに驚きました。自分の好みに合えばトコトン労をいとわずがんばる。しかし自分の好みに合わないとなかなか他人が思うようには動いてくれない。しばらくのあいだ諸君の考え方方は私のと合わせず、大変なカルチャーショックを受けます。しかしながら、よくよく考えると、学生諸君は“自己実現”に非常に忠実な生き方をしていることが分り、大変感心すると同時に大いに圧倒されました。私は、学生諸君から人生で一番大切な“自己実現”を教えてもらいました。これは、私にとって一番の宝です。

A2 学生諸君の自己実現の生き方は、非常に結構だと思います。今、私も真似をしています。ただ、心配するのは学生諸君は本当に自分自身の一番すぐれた能力をつかんでいるのだろうかということです。能力と好き嫌いとは別物であること、本当の能力はなかなか明確に捕まえられないことが事柄を面倒くさくさせています。諸君は早計に自分の能力はこれだと決めつけないでほしいと思います。優れた能力を見いだすために、その能力が芽を出

す場の経験が必要なのです。真剣に色々な経験を積んで、自分のすばらしい能力を見つけてください。その上に、“自己実現”的の花を咲かせてください。

A3 私も飯を食べるための工業仕事は終了したので、まだ経験したことのない面で、もう少しましょ能があるのではないかと全く新しいことを勉強しています。前から関心のあった商業すなわち販売、流通、商品、店舗、財務等一から勉強しています。毎日一生懸命です。パチンコ店の照明はなぜあのようきれいなのか、スーパーの通路はなぜ偶数なのか、コンビニの入り口はなぜ1つなのか、酒屋さんでビールの冷蔵庫はなぜ入り口の正面にあるのか、ビール会社はなぜあんなに色々なビールを売るのか、がわかってくると、街をうろうろしていて面白いことばかりです。今流行の生涯学習の一環です。ノートは1カ月で200頁書きました。お互いに自己実現に向けてがんばりましょう。



未知の世界に踏み込む楽しさ

品 川 尚 司 (一般科目)

A1 1. 初期の学生との付き合い、(学生紛争も含めて)お互いに正面切って素直に話していたように思います。この頃のことは以後の仕事の参考になりました。そして、おりおりのりんとしたすがしい男女学生の姿。
2. 昭和51年頃の学生寮のすんだ様子と55年頃の学生の交通事故死。
3. 昭和51年冬季高専大会で、ラグビー部がじやんけんに敗けて、全国大会出場を逃したこと。いいteamでしたのに、気の毒でした。

A2 学生への希望から始めましょう。礼儀、言葉使いに気をつけてください。たとえば「私のお母さんが……されました。」はおかしいのです。また、えしゃくから最敬礼までの区別ができない人が多い。

これらはほんの一例に過ぎませんが、それもこれもそのお手本は、狂い咲きのようなTVタレン



トの所作、言動にあるのではないかと勝手に推測しています。

きちんとした勉強をしていると、ある無駄のないものの美しさとか、異質のものが構成する高次の、または精緻なもの強靭さ、総合美というものに知的な感動とか清涼感を覚えるはずだし、精神的、情緒的美しさの世界にも浸ることができる、騒々しさと俗悪さで一時を埋めるTV番組とその出演者にお付き合いをするひまはない。ましてや彼等の所作、言動に心惹かれる事はないだろうと思います。

甘えを捨ててもっと努力を



A1 高専に20年間もお世話になりましたので、思い出に残ることはたくさんあります。なかでも最初に思い出すのは、プログラミングコンテストや、高専祭の準備等で夜遅くまで学生諸君とインスタントラーメンなどをすりながらがんばったことです。もっともがんばったのは、学生諸君で私の方は「まだできんとや~」とか「きつかけん、もう今日は帰ろうや~」とか足を引っ張っていただけのような気もしますが。でも、授業中には決して見ることのできない学生諸君の一面が発見でき、非常にいい思い出として残っています。

A2 授業中には居眠りし、欠課も多く、試験の成績も悪いのに単位をもらおうなんて甘い考えの学生諸君が多いような気がします。私も年度の途中まではこういう学生には絶対欠點つけようと思っていますが、年度末になるとつい甘くなり、

先生方は声でのる参考書であり、人生の師でもあるはずですから、尊敬すべき人格の存在を見逃す法はないでしょう。寄りがたいと思うのは、自分から垣根を作っているのかも知れないので。

図書館の利用上手にもなってください。立派な館長さんがおられます。

A3 学生時代に戻った気分です。勉強不足に羞恥(しゅうき)の念油然(ゆうぜん)たりというところで、駄馬の歩みをはじめたばかりです。未知の世界に踏み込むのは楽しいものです。

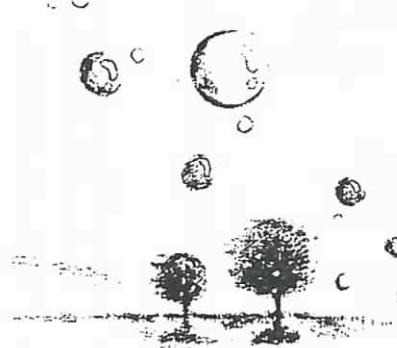
松 野 了 二 (電気工学科)

クラスで3~4人しか欠点はつけていませんでした。やはりこれではよくないと私自身も反省していますが、学生諸君ももう少しがんばって欲しいと思います。単位は貰うものではなく、取得するものなのです。

A3 現在の勤務先は、熊本県立大学の総合管理学部という学部です。具体的には行政管理、経営管理が主体の文化系の学部ですが、これから社会には情報管理も不可欠のものだということで、情報系の教員も7人採用されました。文化系の学部ですので、高専の電気工学科、電子情報工学科でやる内容とは傾向が若干違いますが、情報処理試験の2種程度は取れるようなカリキュラムにしてあります。

私の今後の仕事は、高専の学生諸君に負けないようにできるだけ多くの学生がコンピュータに興味を持ち、2種程度は取れるように手助けすることだと思います。

最後に、文化系でも2種ですから、理系の電気工学科、電子情報工学科の諸君は1種を目指して努力してください。文化系に負けると恥ですよ!



学生表彰（1年間皆勤・精勤者）

◎1年間皆勤者（165名）

年科	氏名	年科	氏名	年科	氏名
1 M	荒健一 荒公一 巻英一 岡規一 鹿児島卓一 下田隆一 堀田雄裕一 森山勤	1 A 2 M 3 E	光安 米久 川青 牛柳 来加 松中 村幸 見花 川平	1 A 2 M 3 E	士輔 久弥 治也 智也 明也 也志 也也 也也
1 E	井今古 神田中 田中長 林久廣 松松武 山吉	2 E	上田和 裕家司 保昭将 史中博 中司野 善義弘 智晋也 富瀬藤 本藤田 藤田永	3 I	子佳 り輔 人輔 之輔 大裕 英大 裕大 裕中 橋長 山横
1 I	安池大 柏里原 黑玉中 西二光	2 I	藤由美 昌明日 香大人 なみ穂 一美雄 悦	3 A 4 M	亮郎 志也 伸道太 良
1 C	有梅緒 國笛猿 瀨古森 吉	2 C	菊次 北城坂 坂重吉	4 M	亮郎 伸道太 良
1 A	入江上 尾倉古 高鍋濱	3 M	智亮翼 涼子 重賀真 美香	4 A	智一 茂雅 恭子

本冊子中 M・Eなどあるのは、次の学科を意味するものです。

M（機械工学科）、E（電気工学科）、I（電子情報工学科）、C（工業化学科）、A（建築学科）

◎1年間精勤者（194名）

年科	氏名	年科	氏名	年科	氏名
1 M	荒英一 荒公一 巻英一 岡規一 鹿児島卓一 下田隆一 堀田雄裕一 森山勤	1 A 2 M 3 E	光安 米久 川青 牛柳 来加 松中 村幸 見花 川平	1 A 2 M 3 E	士輔 久弥 治也 智也 明也 也志 也也
1 E	井今古 神田中 田中長 林久廣 松松武 山吉	2 E	上田和 裕家司 保昭将 史中博 中司野 善義弘 智晋也 富瀬藤 本藤田 藤田永	3 I	子佳 り輔 人輔 之輔 大裕 英大 裕大 裕中 橋長 山横
1 I	安池大 柏里原 黑玉中 西二光	2 I	藤由美 昌明日 香大人 なみ穂 一美雄 悦	3 A 4 M	亮郎 志也 伸道太 良
1 C	有梅緒 國笛猿 瀨古森 吉	2 C	菊次 北城坂 坂重吉	4 M	亮郎 伸道太 良
1 A	入江上 尾倉古 高鍋濱	3 M	智亮翼 涼子 重賀真 美香	4 A	智一 茂雅 恭子

工業化学科から物質工学科へ

科学技術および化学工業の技術革新とともに急速な進歩発展を考慮して、工業化学科を物質工学科に改組し、平成6年度より新たにスタートしました。物質工学とは、物質の本質を知り、その性質を利用して人類に役立つ製品やシステムを創造するサイエンスです。21世紀は“（生物学も含め）新しい化学の時代”といわれています。その中で重要な役割を果たすのが、近年発展の著しいマテリアルサイエンス（物質工学）とバイオテクノロジー（生物工学）です。新学科ではこれらをコース制として導入し、4年生から物質コースと生物コースに別れて、それぞれの専門科目を勉強することになります。したがって、進路対象もかなり広がることになりました。物質工学科への改組は単なる名称変更ではありません。新学科は、社会のニーズに応えうる、そして常に魅力のある学科として、次世代の産業発展を目指し活躍しうる資質の高い先端技術者育成を目指しています。

物質工学科のカリキュラムは次のようになっています。



授業科目	単位数	学年別配当				
		1年	2年	3年	4年	5年
必修						
工学基礎						
応用数学Ⅰ	2					
応用数学Ⅱ	2					
物理	3					
情報処理基礎	2	2				
情報処理	2			1	1	
設計製図	2	2				
電気工学基礎	2					
機械工学基礎	2					
品質管理	1					
工業化学英語	2					
分析化学	2		2			
無機化学	3			3		
有機化学	4		2	2		
物理化学	5		2	2	1	
生物学	3					
機器分析	2					
生物工学	2					
高分子化学	2			2		
分析化学実験	2			2		
無機化学実験	2				2	
有機化学実験	2			2		
物理化学実験	2				2	
機器分析実験	2					
卒業研究	12			3	9	
必修						
物質コース						
機能材料工学	2					
金属材料工学	2					
電子材料工学	2					
反応工学	2					
物質工学演習	2					
反応工学実験	2					
物質工学実験	4			4		
小計	16		8	8		
生物コース						
生体触媒工学	2					
分子生物学	2					
微生物工学	2					
細胞・遺伝子工学	2					
生物工学演習	2					
生物反応工学実験	2					
生物工学実験	4			4		
開設単位数	111	4	7	15	28	47
履修単位数	87	4	7	15	30	31

一部省略

1年・2年・3年	4年・5年
一般科目・共通の基礎専門科目	選択
	(物質コース) 物質の応用専門科目・卒業研究
	(生物コース) 生物の応用専門科目・卒業研究

行事予定

4月11日	入学式
4月23日	遠足
5月17日	全校一斉除草作業
5月26日	春季球技大会
6月13日	前期中間試験（17日まで）
7月18日	保護者懇談会（19日まで）
7月22日	九州地区高専体育大会（24日まで）
8月5日	全国高専体育大会（7日まで）
8月19日	編入学試験（工業系）
9月18日	体育祭
9月30日	前期末試験（6日まで）
10月18日	全校一斉除草作業
10月21日	学生会選挙
10月30日	学校説明会
11月2日	小文化祭
12月2日	冬季球技大会
12月16日	後期中間試験（22日まで）
12月20日	編入学試験（普通系）
2月14日	5学年学年末試験（17日まで）
2月19日	入学試験
2月27日	1～4学年学年末試験（3日まで）
3月17日	卒業式



公開講座のおしらせ

講座名	期日	対象
楽しい電子工作教室	平成6年7月25日～26日 (9:00～15:00)	中学生
やさしい化学講座	平成6年7月25日～27日 (9:00～15:00)	中学生
おかあさんのためのワープロ教室	平成6年7月27日～29日 (9:00～15:00)	主婦
パソコンお絵かき教室	平成6年8月1日～2日 (9:00～15:00)	中学生

創立30周年記念施設命名披露野外演奏会

平成6年6月2日(木)放課後、「友夢創家」の命名披露野外演奏会が開かれました。命名者4E山田行洋君の表彰、同窓会からの銘板の寄贈の後、本校C科卒業生堺友子氏によるエレクトーン演奏、フォークソング同好会によるギター演奏、吹奏楽部演奏が行なわれ、集まった学生、教職員の心を和ませてくれました。



編集後記◆

本年度より新たに広報委員会が発足し、「有明高専だより」をはじめ学校要覧、学生便覧など広報に関する事を一括して処理することになった。

年3回発行のうち本号は本年度初号であり、内容は昨年同様年度初めの諸行事、本年度の主な行事日程、新任・退官教職員アンケートなどでほとんどのページを使うことになった。トピックスは30周年記念施設「友夢創家」である。広報委で学生諸君の明るい表情をという注文があり、ずいぶんフィルムを使ってしまった。ご多忙中にもかかわらず、原稿をお寄せいただきました方々に厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、退官されました方々のご健康とご多幸を祈り、新任教職員の方々のご活躍を期待します。

有明高専だより 第83号

平成6年6月20日

編集
有明高専広報委員会
発行
有明工業高等専門学校
〒836 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-1011(代)